令和６年度　　＜人権教育にかかわる年間指導計画＞

２　年

【基本的な考え方】
○学校生活における人間関係の中で人権教育を意識した指導を行うと共に各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間等における活動を相互に関連づける。
○自他共の生命を尊重する心情・態度の育成を重視する。

【年間指導計画作成のための方針】
○教師と児童の信頼関係を築くとともに、全教育活動において自分の大切さを実感できるように一人一人のよさを認めることを重視した指導を展開する。
○職場体験等で様々な人とかかわり、感謝することの大切さを学べるようにする。
○生徒会活動のボランティアや募金活動などで積極的に他者や社会にかかわっていく。

	４月	５月	６月	７月	８月	９月	１０月	１１月	１２月	１月	２月	３月
学級経営	人権尊重の目標にかかわる学級の目標を設定する	新しい学級に、人間関係に適応できるよう支援していく					様々な機会に自己の個性を伸ばし、他の良さを理解できるよう支援していく			学校生活を振り返り、感謝の気持ちを持つ。次年度の目標を設定できるようにしていく		
各教科 読書科	社会科（歴史）身分制度について学び、同和問題、女性の差別について理解する	英語科「Dogs with Jobs」で盲導犬と共に生きる人につて学ぶ 技術科情報モラルを学び著作権・肖像権を学ぶ 体育科「運動会の取り組み」において他人への健康・安全への配慮	英語科　異文化を理解し、人間としてお互いを尊重する　社会科「日清戦争」において中国・韓国問題を考える 体育科　「水泳」「球技」において個を認める態度	理科「体のつくりと働き」にて生命の尊重と人権を学ぶ		社会科（歴史）アイヌの歴史や文化を理解する 保健「健康と環境」において他人への健康・安全の態度	国語科 弁論大会にて人権にかかわる弁論 社会科「アジアの民族運動」において同和問題を考える　体育科「機会運動」において他人の演技を鑑賞する態度	体育科「中・長距離走」にて自己肯定・自尊感情の向上	英語科「A new Language Service」国際交流センターについて理解する 保健「健康と環境」において他人への健康・安全の態度	社会科「現代日本」において国際理解と人権についての考察		
特別の教科 道　徳		社会の秩序自他の権利を大切に、義務を果たす	社会連帯の自覚を深め互いにいたわり助け合う			一人一人の行動がよりよい社会の実現となる	人間として誇りある生き方を見出そうとする心情	公共の福祉 障害者や、社会のあり方を考える	集団生活の向上・集団のかかわりから権利と義務について考える	公正・公平な視点を持ち、不正やいじめを許さない態度	健全な異性観互いに正しい理解を深め相手の人権を尊重する。	生命の尊重 かけがえのない自他の生命を尊重する
特別活動	学級活動： 人権教育の目標にかかわる学級の目標を設定する。				生徒会地域清掃・ボランティア活動で社会への関心を高める			職場体験 様々な人との関わりのなかで感謝の気持ちを持つ			生徒会活動： １，２年生全員参加による地域清掃。	
学校行事 保護者、地域との連携	保護者会 人権教育に関する学校の方針を説明する	運動会 クラスの団結・協力を通して自他の良さを理解する	学校公開	林間学校 友人との生活の中で互いのを深く理解する			文化祭 自他の文化を尊重する精神を養う					卒業式 感謝と祝福の心で臨む
保護者・地域との連携			＜学校公開＞ 人権教育について説明									